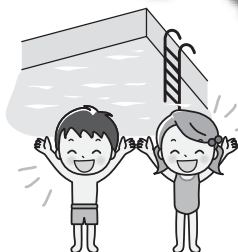


# 小児

## コーナー



北病院 外来看護師  
田川 美樹

## プール熱とは

「咽頭結膜熱」と言われ、プールを介して感染しやすいため「プール熱」と呼ばれています。飛沫、接触によって感染するため、保育園や幼稚園、学校など人が集まる環境で流行しやすい病気です。

症状としては咽頭炎(のどの痛み)・結膜炎(目の症状)・発熱です。また、リンパの腫れや倦怠感、下痢や腹痛を起こすこともあります。

原因は「アデノウイルス」です。アデノウイルスは1年中みられるウイルスですが、プール熱は6月頃からはじまりプール利用の増える7～8月頃にピークを迎えます。

プール熱の潜伏期間は5～7日です。発症すると1週間～10日程度症状が続きますが、特別な治療法はなく自然に治ります。